

1. アンケート結果

(1) アンケートの諸元

表1 アンケート調査諸元一覧

調査名等	手法	回収期間	回収数
令和6年度市民意識調査	住民基本台帳から性別、年齢、地域などを考慮して無作為抽出し、郵送配布－郵送回収	令和6年9月6日(金)～ 9月30日(月)	1321
船橋市の「公園」と「緑」に関するアンケート	市ホームページ(オンラインシステム)にアンケート掲載 公園緑地課窓口にて配布・改修ジャンボ市にて配布回収	令和6年9月17日(火)～ 令和6年10月31日(木)	156

(2) 回答者の属性

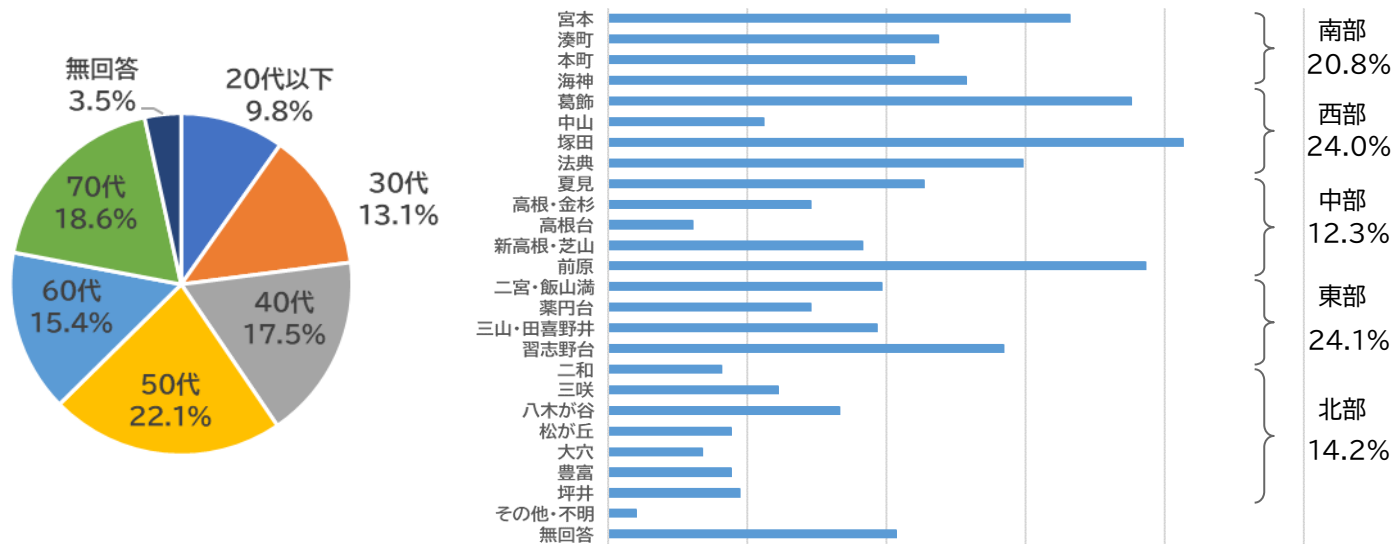


図1 年齢

図2 居住地区

(3) 主な結果

① 緑の有無

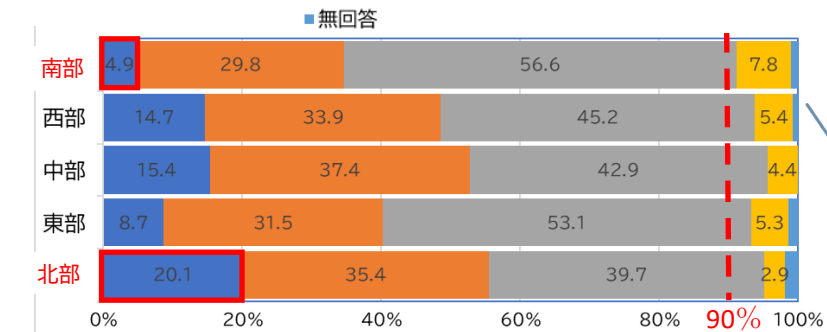


図3 目に映りふれあうことのできる緑(居住地区別)【問2】

9割以上の方が近くに緑が「ある」と回答しています。

「多くある」と回答した人は、南部地区では少なく(4.9%)、北部地区では多く(20.1%)となっています。

② 公園の利用目的

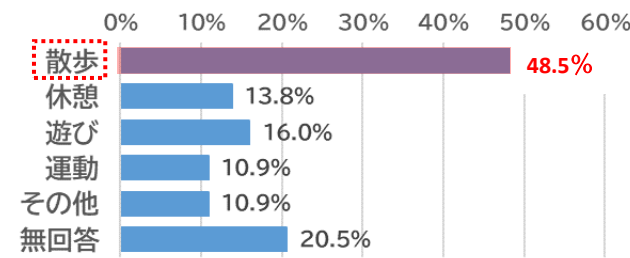


図4 公園の利用目的【問6】

公園の利用目的は、「散歩」が5割近くとなっています。

新型コロナウイルスの感染拡大などにより公園の利用方法に変化が起きています。



(4) 過年度との比較

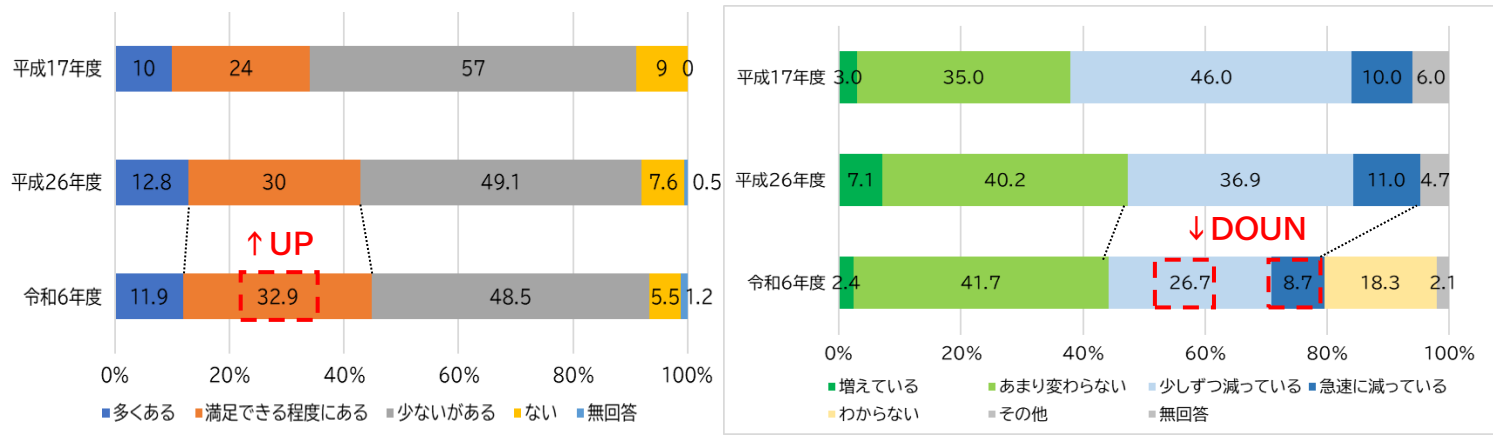


図5 緑の有無【問2】

「多くある」「満足できる程度にある」と回答した人は増加しています。

図6 緑の量の変化【問4】

「少しずつ減っている」「急速に減っている」と回答した人は減少しています。

2. アンケート結果の分析

(1) 分析の目的

アンケート結果を分析することにより、第2回緑化推進委員会で示された検討方針を踏まえ、検討を進めるために必要な事項を明確にすることを目的としております。

表2 検討方針と把握すべき事項

3つの検討方針	分析するもの
1. 地域のニーズに適合した公園の在り方の検討	①市民の公園へのニーズ
2. 市民協働、官民連携による管理の検討	②保全すべき緑 ③参加しやすい市民活動
3. 自然の力を活かしたニーズへの対応の検討	④本市に求められる緑の役割

第2回会議
まとめ

(2) 市民の公園へのニーズ

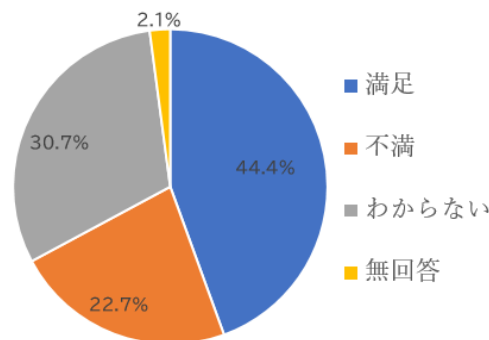


図7 身近な公園の満足度【問5】

- ⇒ 「満足」と答えた人は、「不満」の**2倍**
- ⇒ 満足度は大きな**地域差**を確認
- ⇒ 満足と感じている人が持っている印象は「緑」、「遊具」、「散歩」、「近い」、「広い」、「できる」

(3) 保全すべき緑

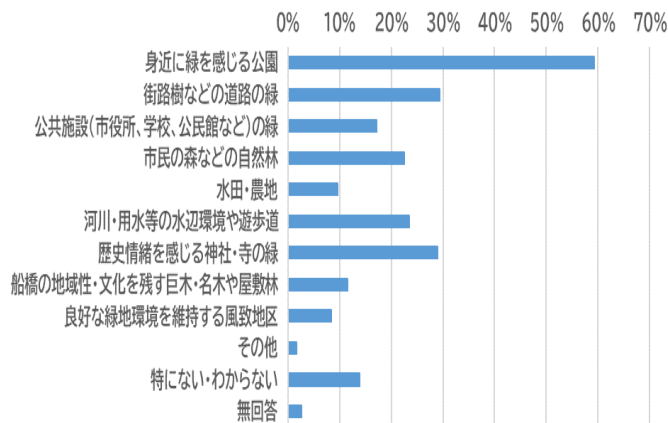


図8 シンボルや残したい場所【問10】

⇒ 地域の歴史や固有の景観といった**地域資源としての緑**が選択されたと推測される。

表3 地域別満足度

地域名	満足	不満	わからない	無回答	合計
塚田	87	14	21	0	122
三山・田喜野井	22	17	16	2	57
二和	7	8	7	2	24
坪井	21	4	2	0	28

※ 上段は回答数、下段は百分率(%)を表しています

- 緑の豊かさ
- 近さ・広さ
- 使いやすさ

ほしい

公園へのニーズは大きく変わっていない

(4) 参加しやすい市民活動

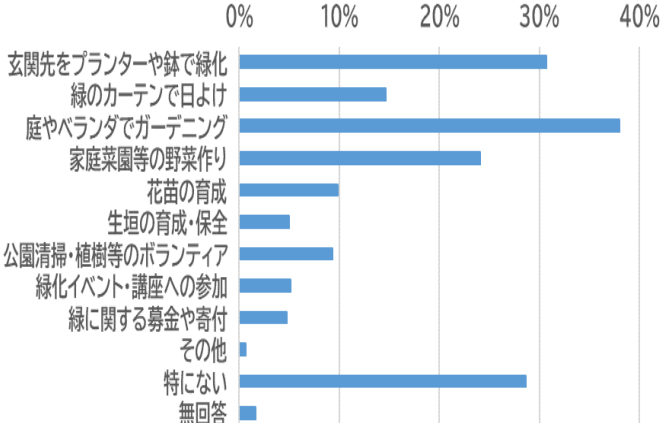


図9 取り組んでいる、取り組みたい活動【問8】

⇒ 自宅周辺の活動が目立つ、**多様な施設の緑化**に取り組む必要がある。

(5) 本市の緑に求められる役割

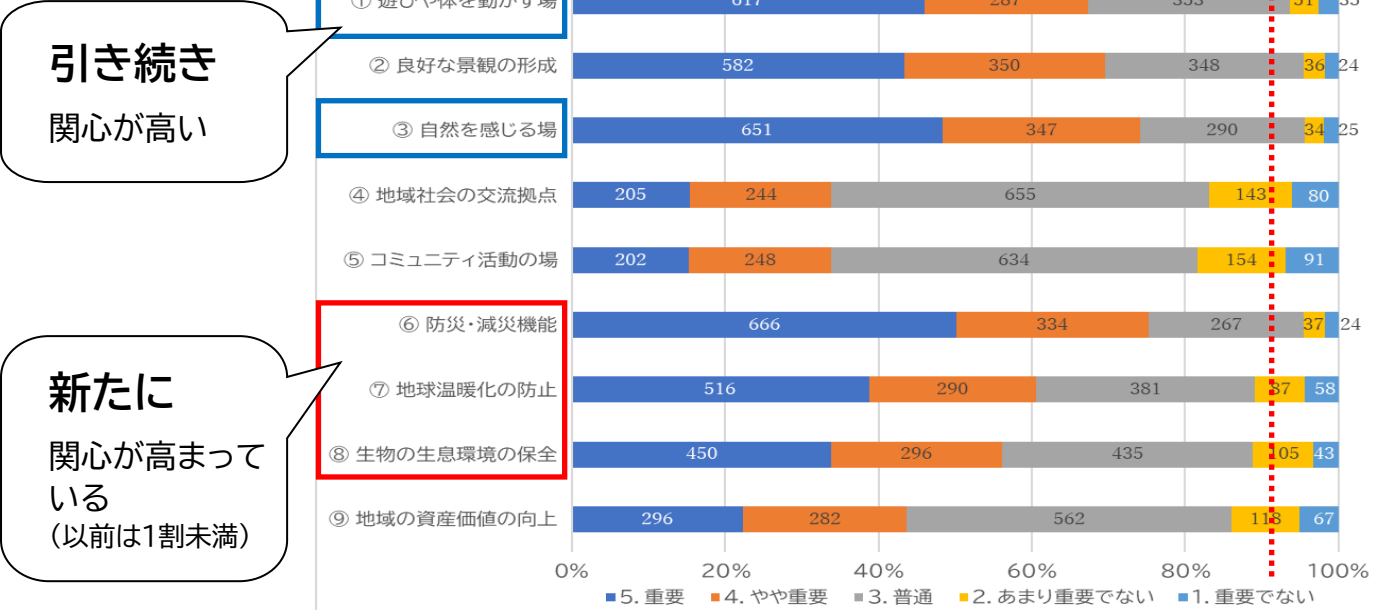
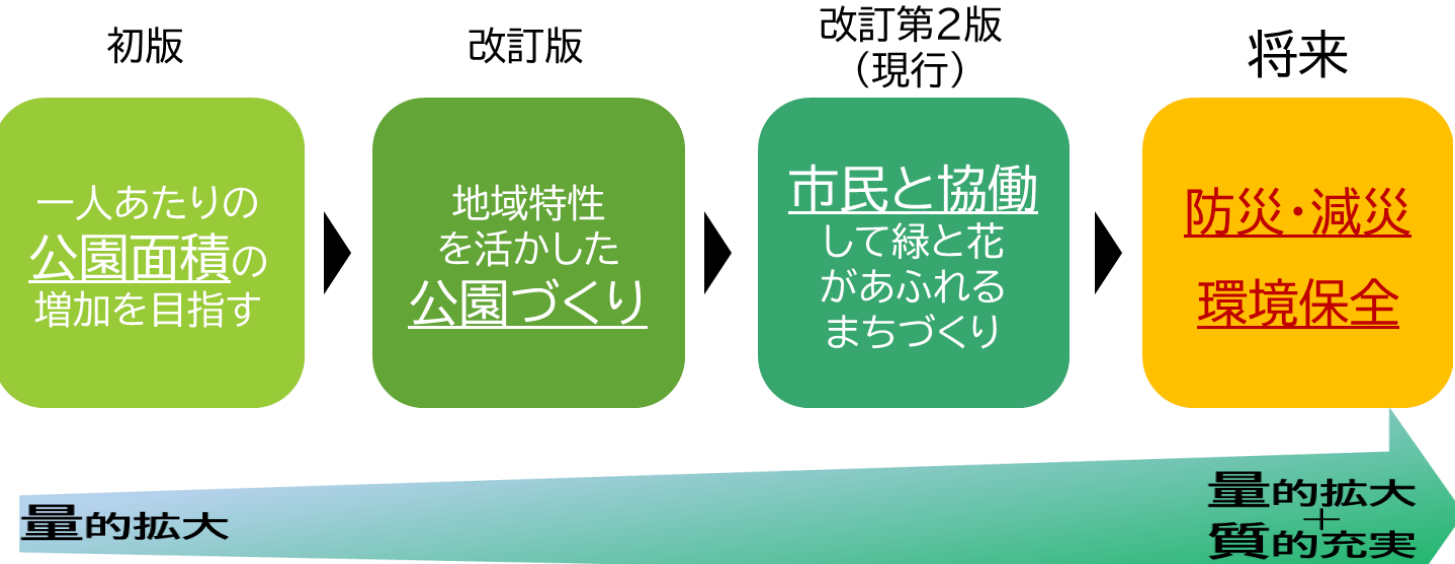


図10 本市の緑に求められる役割【問6】

⇒ **防災・減災**や**地球環境の保全**など緑に求められるものの**変化**が見られます。



3. 緑の基本計画改定に向けた課題整理



これまでの拡大の取組みを続けるとともに**グリーンインフラの促進**による**緑の機能・効果の最大化**を図る。